

# 分散型処理システムとしての浄化槽の特長

もっとも規模が小さな浄化槽は、戸建て住宅単位で設置され、家庭から発生する生活排水をその場で処理して放流するので、地域の水環境保全や費用対効果などの観点から、多くの特長を有します。

## 1. 設置費用が安価

小型浄化槽はすべて工場生産品であり、量産効果により浄化槽本体の価格を抑えることができます。  
設置場所は家の敷地内の空き地を利用することができます。

## 2. 設置工事の期間が短く、効果の発揮が迅速

乗用車1台分のスペースがあれば設置でき、配管距離が短く、地形の影響はほとんど受けません。  
設置工事は1週間程度で完了しますので、きわめて短時間で処理機能が発揮され、生活排水対策の効果が確認できます。

## 3. 小河川・水路の水量保持と水辺景観の維持に寄与

浄化槽で処理された水は、近くの側溝を通じて小河川に放流され、小河川の水量確保・地域の水循環や、豊かな水辺の自然環境の維持に寄与しています。

## 4. 処理水と汚泥の再利用がしやすい

浄化槽は基本的に生活排水だけを処理対象としているので、有害な物質をほとんど含まないため、処理水や汚泥が再利用しやすいです。

## 5. 地震などの災害に強い

地震などの自然災害が発生した場合に、複雑な管路施設を持たない浄化槽は短時間で機能復帰することができます。

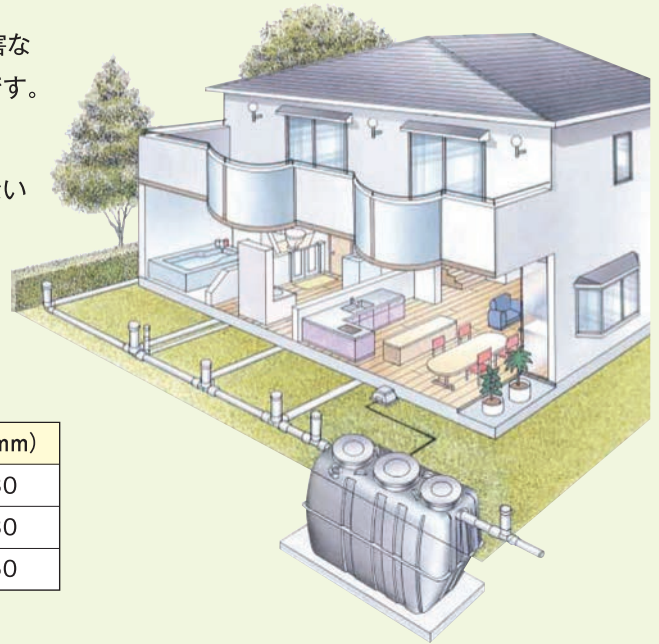
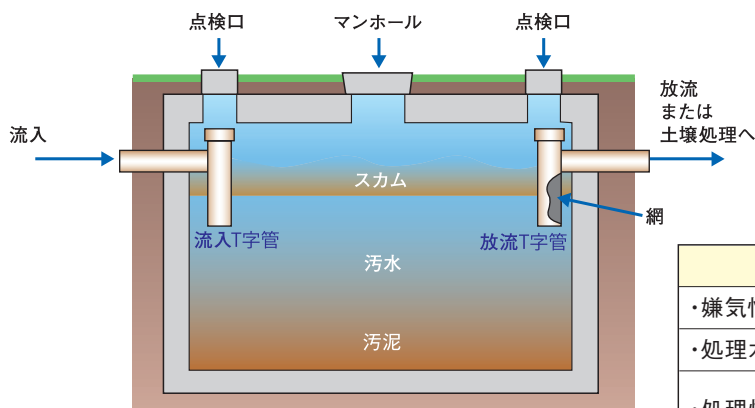


表-3 一般的な戸建て住宅用浄化槽の大きさ(例)

人 槽	幅 (mm)	長さ (mm)	高さ (mm)
5	980	1,580	1,530
7	980	2,120	1,530
10	1,200	2,790	1,550

## コラム5 ●海外の分散型処理施設「セプティックタンク」



セプティックタンクの構造例

外国では、生活排水処理にセプティックタンクを設置して行うことがあります。例えば、米国では、セプティックタンクの流出水はさらに土壌処理をするのが一般的です。

セプティックタンクと浄化槽の違い

セプティックタンク	浄化槽
・嫌気性処理	・嫌気性処理+好気性処理
・処理水の再処理が必要	・処理水を直接放流
・処理性能が低い (BOD除去率が低い)	・処理性能が高い(BOD除去率が高く、窒素・リンの除去も可能)